

五島市図書館友の会だより

第 24 号(2022.11 月)

ありがとう！五島市立図書館

・平成 3 年開館以来約 31 年間、石田城址の中に包まれた五島市立図書館も本年 9 月 30 日、多くの皆さんに見送られながら閉館セレモニーが行われました。「ウインドアンサンブル花音」さんによるミニコンサートなどもあり、図書館ボランティア活動をされている 3 団体と共に「図書館友の会」も感謝状をいただき感動的なセレモニーとなりました。



玄関が閉められ電気が消され、

蛍の光が流れる中みんなでお別れをしました。

写真は図書館ホームページより

・わたしが一昨年代表を引き受けてからの動きを少しお話しします。

図書館友の会という組織自体がよくわからないまま一昨年坂井さんより 代表を引き受けたのはいいのですがコロナ渦の真っ只中でもあり、なかなか普段の活動がでませんでした。毎年 5 月に行う図書館友の会主催古本祭りは 2 年間開催出来ず、年次総会も 2 年続けて書面決議となってしまうりましたが、今年は短い時間の中での久しぶりに多くの顔が揃った総会を開くことができました。

普段の活動なども規制がかかる中、LINE（ライン）をコミュニケーションツールとして利用しながら、会報の発行・読書会開催。月例会では、新聞記事「ふるさとの話題」掲示及び「アート広場」展示作業は通常通りの活動を行っています。

月例会の後に本のクリーニング作業を行い、「本が驚くほど綺麗になって気持ちがいい」との声も聴かれ、新しい図書館になっても続けていきたい作業の一つとなりました。

役所の窓口である教育委員会との話し合いも何度か持つことができ、7 月には社会福祉協議会に入会し ボランティア活動団体発表をさせていただき、10 月にはボランティア活動保険の全会員登録をすることが出来ました。

・新図書館に対する期待 五島市新図書館整備基本計画に書かれているように

- ・人々の暮らしに役立つ地域の情報拠点
- ・市民に快適に利用しやすい読書活動拠点
- ・市民の生涯学習拠点

これらを具体的な図書館にしていくのはわたしたち図書館友の会の役割も大事なことだと思います。

市民活動スペース（市民ギャラリーのしま）を利用し図書館と協力しながら、映画鑑賞会・ミニコンサート・勉強会・講演会などなどを開催したいと夢は広がって行きます。より良い図書館にしていくため会員さんと協力しながらより良い友の会活動でありたいと思っております

リレーエッセイ 23

図書館友の会代表 古賀 義和

アートの広場 展示紹介

写真は図書館ホームページより



令和4年8月
「鬼滅の刃」臨画
小島 高則

※ 著作権保護のため作品は、ぼかしています。

新図書館でも「アートのひろば」は展示予定です。皆さんの出展をお待ちしています。

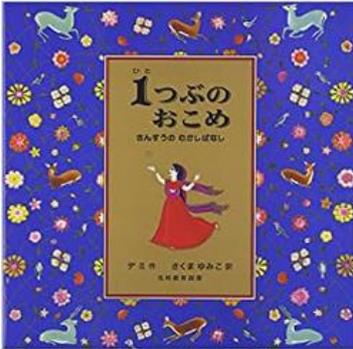
蘭子さんのおすすめ絵本

その9

絵本は一生の友達です

今回は数をテーマにして絵本を紹介します。

『1つぶのおこめ—さんすうのむかしばなし』 デミ著 さくまゆみこ翻訳



宮殿までお米を運ぶぞうのかごから米粒が落ちているのを見たラーニは、飢饉で苦しんでいる人々にお米を分け与えようとする王様にある計画を立てました。拾ったお米を王様のところに持って行ったラーニは、ほうびを与えるという王様に「今日はお米を一粒だけ。明日から30日の間それぞれ前の日の倍の数だけお米を頂けませんか?」と言います。この後なにがおこったでしょう。

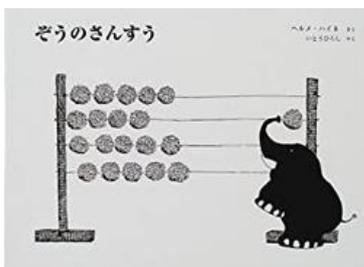
『数ってどこまでかぞえられる? グーグルのもとになったことば』

ロバート・E. ウェルズ, Robert E. Wells 他

0が100個ついた天文学的数字、グーグル。これで終わりでしょうか? 違いますよね。また一つ、0をつければ、もっと大きい数になりますよね。数は無限で、永遠という時と関わっていくのです。



『ぞうのさんすう』 ヘルメ・ハイネ



毎年誕生日が来るたびにゾウのうんちもひとつずつ増えていきます。そして50年過ぎるとひとつずつ減っていきます。100年生きたその日ウンチは出ません。ゼロというものがわかったゾウ。ゾウは静かにきえていきます。

『ふしぎなたね』 安野 光雅

仙人からなまけものの男はふしぎなたねをもらいます。一つ食べると一年間はおなかがすかず、もし種を一個まくと翌年には2個実るといいます。最初に紹介した倍の倍の・・・お話かな?と思うと全く違います。この本を読むとなぜ算数を学ぶのがすとんと胸に落ちます。



五島市立図書館の歩み



写真は図書館ホームページより

<年表>

平成3年1月

福江市立図書館開館

平成8年

移動図書館車ラブリーつばき号運行
(久賀、旧市学校、福祉施設巡回)

平成16年

五島市が誕生

名称を五島市立図書館に変更

平成17年

移動図書館車全市域に巡回拡大

平成25年 奈留町公民館図書室と連携開始

平成28年 2代目移動図書館車 ドリームつばき号運行

令和4年10月1日

新図書館移転準備のため閉館

令和5年4月1日

新図書館開館予定

<蔵書冊数> 約15万冊 令和4年9月現在(移動図書館車・奈留町公民館図書室含む)
「五島市立図書館閉館セレモニー」より・作製：五島市立図書館

ボランティア活動保険に加入しました！

■ 「ボランティアセンターごとう」(社会福祉協議会所属)に加入し、「ボランティア活動保険」が補償されることになりました。

- ・ボランティア活動中の様々な事故による「ケガ」や「損害賠償責任」が補償されます。
- ・「会員カード」を同封しています。
- ・他のボランティア団体で同保険に加入されている方は同封しておりません。

詳細は古賀代表(080-8728-2175)にお尋ねください。

編集後記

いよいよ来年4月(予定)に新図書館オープン！

ワクワクで胸がいっぱいです。「市民のための市民による図書館」をめざし図書館への協力と提案を、今までと変わらず、地道におこなっていきたいものです。

K/S